

特集

特集 1 オカムラの共創活動WORK MILLの広がり 「はたらく」を変えていく活動を全国的に積極展開

これからの「はたらく」を変えていくWORK MILLという活動は、2016年11月にスタートし、共創空間での活動、ウェブサイト運営、研究、共創プロジェクトなど、ますます広がりを見せています。多様な人々とのネットワークを築き、全国4カ所に設けた共創空間を拠点とした各地域のコミュニティなど、広く深いつながりを展開。働き方改革の推進はもちろん、地域におけるさまざまな課題解決にも積極的に寄与しています。



いろいろな人たちの働く環境や働き方、生き方を変えていく

組織の壁を超えて多様な人財と共に、新たな価値創造をめざす「共創」。WORK MILLは、東京の「Sea」、名古屋の「Cue」、大阪の「bee」、福岡の「Tie」と、全国4カ所に共創空間を設け、そこを拠点にそれぞれが独自の活動を行いながら連携しています。裾野が広い「はたらく」というテーマをメインにしているため、共創活動の幅が広く、さまざまな未来の可能性が開花。これからもWORK MILLは、組織とそこではたらく人々の「生産性」「創造性」「幸福度」「サステナビリティ」を高める方法を実践的に研究し、広く共有することで社会に貢献していきます。

WORK MILL



VOICE

全国4カ所の拠点による展開でネットワークを構築し、広がりが見られます。



働き方コンサルティング事業部
フューチャーワークスタイル戦略部
WORK MILL X UNIT
庵原 悠(上)

共創センター
垣屋 譲治(下)

オカムラの共創活動は、全国4カ所の拠点を中心に、広いネットワークを築いています。東京の「Sea」をスタートさせた当初から、「共創」は大きな軸の一つでもありました。WORK MILLは、答えを規定するような一方通行の情報発信ではなく、答えを共に探っていく補助線となる活動を意識して立ち上げています。そうした姿勢もあり、全国それぞれの場所ですながった人や企業と新たな展開へ向かうケースも最近では多く見られます。

各地域のメンバーが働き方改革を「自分ごと」として捉えながら活動に日々向き合い、共創プロジェクトを通じて何かを達成したりするなかで、いきいきとしていく様子を感じます。また、知見や経験値がどんどん蓄積され、活動がレベルアップしているように思います。この活動は最初から、社会に貢献する(CSR)、また社会とともに価値創造していく(CSV)ことを考えていました。本気で取り組まないことには実現は成し得ないと理解する人が増えてきたと感じており、最近では、ムーブメント的だった問題意識から、定着に向けた「真剣さ」へと活動の姿勢が変化しながら、「社会への貢献を実現する」ための本気の取り組みになってきています。今後も、日本の社会に対して影響を与えるようなインパクトのある取り組みが生まれる、その発信源のようなポジションになれると思います。

特集

愛知県や名古屋市など 地域の自治体の 取り組みにも協力



名古屋の「Cue」という拠点では、「『はたらく』のワクワク、みつけた。」をテーマに掲げ、3つのキーワードを大切にしながら活動や発信を続けています。そのキーワードは、「ツナガリー多様性」「シゲキー継続性」「ヒラメキー実効性」です。「はたらく×Cue」という活動をメインとし、参加者の課題意識とリソースから、何かを生み出す活動に挑戦。みんなの想いやスキル、経験から、新たなソリューションや今までにない価値を生み出そうとしています。

2019年度は77回のイベントに、551団体2,092名が参加。愛知県の「あいち働き方改革推進キャラバン」や「あいち女性起業家支援プログラム」、名古屋市の「ナゴヤをつなげる30人」にも協力しました。地方都市の共創空間として地域社会とつながり、行政や中小企業、NPOや学生などの参加者も増え、地域課題の解決にも向かっています。

VOICE

チャレンジすることが大好きな熱量のある人たちが集まる場だと感じます。



中部支社 マーケティング課
セールスプロモーションセンター
小倉 悠希(左) 河田 佳美(右)

2019年は「Cue」の3年目で、活動の広がりが強く感じられました。「育てよう、かたちにしよう」という想いを持って活動し、愛知県や名古屋市など自治体からのお声も増えて、自分たちだけではできなかったイベントやプロジェクトを実施できました。今後はコミュニティとしての「強さや濃さ」と「新しさやオープンさ」の両立を考えながら、さらに挑戦していきたいと思っています。(小倉)

「Cue」はチャレンジが好き。熱量のある人が集まる場、そういう人が常に誰かいる場にしたいです。また、私自身も「Cue」で社内外のさまざまなステークホルダーの方々とつながりを持ち、多くのプロジェクトを実行することで視野が広がり、「Cue」以外の多様な活動にも参加しました。今後は学生など若い世代にもアプローチし、「はたらく」ことや将来を描くサポートをしながら、身近な社会問題を考えたり解決する場にしたいと思っています。もっと新しい人を巻き込んで、どんどんつながる場として成長していきたいです。(河田)



「Cinemaで考えるSDGs」など 社会問題をみんなで 考えるきっかけに



福岡の「Tie」では、オカムラの社内講師による情報発信や、福岡ならではの「はたらく」について考えるなど、オリジナリティのある数々の企画を展開。中でもSDGsに関してはオリジナルイベント「Cinemaで考えるSDGs」を毎月開催しています。問題を提起する映画を上映し、その問題について参加者が討議を行います。明日から実践できるSDGsについて考え、自分ごと化できると好評です。



VOICE

人脈を構築したり、情報を発信したり、SDGsの活動のつながりも生んでいます。



西日本支社
マーケティング課
販売企画室
北島 かおり(上)
高木 有香(下)

福岡ではよく「人脈をいかに構築するかでビジネスが決まる」と言われるほど、人脈を大切に土地柄です。そこで、人と人とのつながりに配慮したイベントの運営を心がけました。九州ではSDGsの活動を行っている小さなコミュニティが各地にあります。そのコミュニティの人々が九州の情報発信の中心地である博多の「Tie」に集まることで、つながりのきっかけにもなったと感じています。(北島)

福岡は中小企業やスタートアップが多く、「Tie」ではフリーランスや副業をされている方々と知り合う機会もたくさんありました。また、地方都市であり「東京に比べて、まだまだ」という危機意識や「何か発信したい!」という想いを持っている方々に興味を示していただけると感じます。「オカムラの利益だけを考えるのではなく、外部との共創の場になっている」との声を聞いた時はうれしかったし、今後もさまざまな人々のビタミン剤のようになれば最高です。(高木)

特集

「働き方改革」「女性活躍」「学び直し」の3本柱でユニークな活動を展開



大阪の「bee」では、「ラクワク(楽WORK)」をコンセプトに、どうしたら「楽しく・仕事」ができるか、どうすれば「楽(スマート)に・仕事」ができるかを参加者同士で考えています。

「働き方改革」「女性活躍」「学び直し」の3本柱でイベントなどを展開。「働き方改革」では、関西の大手企業とお互いが感じる働き方の課題に向き合い、解決のヒントを見つけ、それぞれが一步を踏み出せるようなイベントを実施しました。「女性活躍」では、女性自身がどうありたいかを考えるイベントを実施。これからどんな未来になるかを予想するのではなく、どんな未来が来てほしいかを描き出し、そこから今何をすべきかを考えました。「学び直し」では、大学との共創により、社会人と大学生が一緒になって共に学ぶ時間をつくっています。

VOICE

「おもろさ」と「自然体」を大切にしながら、本音の語り合いで創造性を拓いています。



関西支社
マーケティング部
マーケティング推進室
岡本 栄理

「はたらく×bee」のシリーズでは、10年後の働く女性の未来像を描き、その女性がどんな空間で働いているかを参加者が具体的にイメージする活動を実施。未来人が働いている空間のプロトタイプを、粘土や折り紙などでつくりました。さらに、それをオカムラの自社製品や造作によって、本当に一坪のワークプレイスとして具現化。よりリアリティを持ったアウトプットとして心に残り、「これって今すぐにも取り入れられるんじゃないの?」といった示唆を現在にも与えてくれることを実感しました。

「bee」は関西発ですから「おもろさ」と「自然体」ということを大切にしています。真面目に固く考えていても、創造性は拓けません。本音の語り合いから、自然に仲間やコミュニティが生まれていくのをたくさん目にしました。また、「30年ぶりに再会した!」など、参加者の偶然的再会がとても多いのも特徴。ここには不思議な縁があると、参加者の方々にびっくりされるのは、とてもうれしいことです。これからもここで自分たちが答えを「つくる」共創活動を、組織の枠を超えて展開することが、社会の持続可能性に直結すると感じています。



最近WORK MILLが、さらに多くの人たちに注目されている理由

オンラインでのイベントも開催

新型コロナウイルス感染症による社会的な影響が大きい中で、各拠点ではいち早くオンラインイベントを企画し開催。「Cue」では2020年3月に「コロナに負けるな!ナゴヤ100人カイギ Vol.6.5」を、4月からは「Sea」「bee」「Tie」でも各イベントをオンライン開催し、地域を問わず多くの方々にご参加いただいています。「この状況のせいではない」のではなく、「この状況だから新しいことをする」というチャレンジ精神で活動し、さらに多様性のある人々が集う場として、多くの参加者から好評の声をいただいています。



働き方や働く環境についての意識調査なども実施

WORK MILLでは、東京港区にある共創空間「Sea」のイベント参加者を対象に、働き方や働く環境についての意識調査を継続して実施。トピックごとに冊子としてまとめて発刊しています。Vol.1:ワーク・エンゲイジメント Vol.2:働き方改革/ワークインライフ Vol.3:働く環境 Vol.4:健康経営への意識 こうした研究活動をこれからも続けながら、明日の「はたらく」のあり方を見つめていきます。

